

平成20年度 事業決算

科目 / 事業	決算(千円)	備 考
事業費総計	491,519	
①水産海洋研究センター事業費	430,516	
水産海洋研究センター職員費	323,097	
"          運営費	21,872	
"          整備費	45,049	補助 (10,124)
水産海洋研究費	40,498	
(本所)	(31,340)	
ソデイカ漁業の漁具漁法改良試験	2,765	県 単
漁場探索支援事業	997	県 単
アオダイ等資源回復推進調査	878	県 単
漁獲情報収集管理事業	230	県 単
新漁業管理制度推進情報提供事業	1,662	補 助
海洋動態解析事業	389	補 助
マグロ類回遊行動生態調査	3,369	受 託
沖合海域海洋観測調査	7,750	受 託
生物情報収集調査	2,810	受 託
日本周辺高度回遊性魚類資源対策調査	2,801	受 託
モズク類養殖技術改良試験	1,538	県 単
ヒトエグサ中性胞子を用いた養殖試験	49	県 単
クビレオゴノリ養殖技術開発	238	県 単
ヒメジャコのケージ式養殖技術実用化試験	202	県 単
ナマコ類の養殖基礎試験	344	県 単
養殖魚介類の魚病対策試験	1,155	県 単
新養殖管理技術開発試験	1,706	県 単
特定海域海産生物放射能調査	2,115	受 託
ソデイカのすり身等に関する研究	342	県 単
(石垣支所)	(9,158)	
八重山海域資源管理型漁業推進調査	1,353	県 単
シラナミの漁業資源生物学的研究	564	県 単
ハタ類の新規養殖適種選定試験	2,354	県 単
シラナミの種苗量産技術開発	787	県 単
シロクラベラの分布生態及び資源加入過程の研究	2,000	受 託
大型ハタ類の性転換・性成熟研究	2,100	受 託
②行政対応等事業費	61,003	
(企画管理班)	(6,956)	
運営費等	6,956	県 単(科)
(本所)	(42,821)	
広域漁場整備事業	1,229	補 助(漁)
資源管理型漁業推進調査	805	交付金(水)
耐久性浮魚礁魚礁管理事業	1,589	県 単(漁)
養殖水産動物保健対策推進事業	4,697	交付金(水)
放流技術開発事業(シラヒゲウニ)	1,495	県 単(水)
海面養殖推進総合対策事業(魚類養殖, 養殖環境)	3,333	県 単(水)
養殖魚ブランド化支援事業	22,867	補 助(水)
漁業管理対策事業	640	交付金(水)
マリンバイオ産業創出事業	6,166	県 単(新)
(石垣支所)	(11,226)	
シャコガイ種苗生産事業	3,586	県 単(水)
ヤイトハタ種苗生産事業	6,349	県 単(水)
シャコガイ増養殖技術開発事業	1,291	県 単(漁)

受託:受託事業予算、補助:国庫補助事業予算、交付金:交付金事業予算、県単:県単独事業予算  
(水):水産課予算、(漁):漁港漁場課予算、(科):科学技術振興課予算、(新):新産業振興課予算

## [沿革]

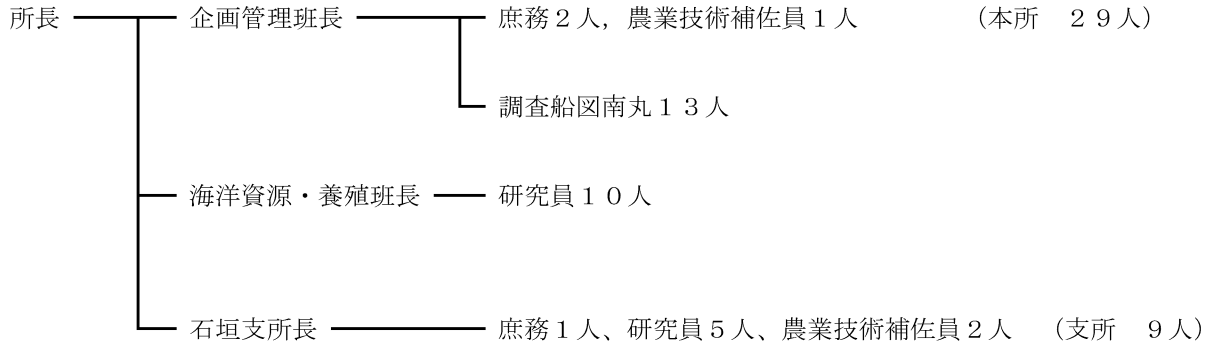
大正10年 (1921)	4月	沖縄県水産試験場設立，事務所を県庁内に置く
昭和2年 (1927)	11月	調査船初代「凶南丸」100トン竣工
3年 (1928)	3月	那覇市垣花町に庁舎新築
19年 (1944)	12月	空襲により焼失
23年 (1948)	7月	沖縄水産試験場として再出発，事務所を沖縄民政府内に置く
25年 (1950)	4月	琉球水産研究所に改称
27年 (1952)	3月	佐敷町馬天に庁舎新築移転
32年 (1957)	5月	那覇市泊に庁舎新築移転
35年 (1960)	5月	調査船第2代「凶南丸」159トン竣工
41年 (1966)	8月	調査船初代「くろしお」21トン竣工
	10月	石垣市に支場として八重山水産模範養殖場設置（日政援助） 本場の研究室をこれまでの漁労・製造・増殖の3部門から資源調査が 加わり4研究室となる。さらに庶務課が設置される
45年 (1970)	1月	琉球水産研究所，同八重山支所に改称
	10月	琉球水産試験場，同八重山支場に改称
47年 (1972)	4月	復帰に伴い沖縄県水産試験場及び同八重山支場に改称 本場は1課4研究室体制から1課2室体制となる
49年 (1974)	8月	糸満市に本場庁舎新築移転（国庫1/2）
50年 (1975)	1月	調査船第3代「凶南丸」216トン竣工
55年 (1980)	3月	調査船第2代「くろしお」34トン竣工
58年 (1983)	4月	本部町に栽培漁業センター（支場）開設
63年 (1988)	4月	同センターとして独立
5年 (1993)	9月	八重山支場全面増改築開始
7年 (1995)	3月	調査船第4代「凶南丸」176トン竣工
8年 (1996)	2月	調査船「くろしお」34トン廃船
	3月	八重山支場全面改築竣工
13年 (2001)	4月	水産業改良普及所と統合
17年 (2005)	4月	農林水産部より企画部に移り、水産業改良普及所と分離
18年 (2005)	4月	沖縄県水産海洋研究センター，同石垣支所に改称 本所は企画管理班，海洋資源・養殖班の2班体制となる

## [施設]

	本 所		石垣支所	
敷地面積 (㎡)		19,551		23,622
本 館 (㎡)	1階建	1,045 (研究棟含む)	1階建	248
飼育実験棟 (㎡)	3棟	914	1棟	200
開放実験棟 (㎡)	1棟	223		
魚病実験棟 (㎡)	1棟	99		
研 究 棟 (㎡)			2棟	402
屋外実験池 (㎡)	29面	281	38面	1,733
屋内実験池 (㎡)	10面	222	35面	1,141
展 示 棟 (㎡)			1階建	192
調査船	凶南丸	176トン・1,200HP	平成 7年 (1995)	3月竣工

〔組織〕

沖縄県企画部……………科学技術振興課…………… 沖縄県水産海洋研究センター（38人）



〔職員〕

(平成20年4月1日現在)

	本 所			石垣支所	計
	所 長	企画管理班	海洋資源・養殖班		
行政職	1	2		1	4
研究職		1	11	6	18
海事職		13			13
現業職		1		2	3
計	1	17	11	9	38

平成20年度職員名簿

本 場

所 長 (技) 上原 孝喜	研 究 員 (技) 松尾 和彦
	研 究 員 (技) 山田 真之
企画管理班	研 究 員 (技) 須藤 裕介
班 長 (技) 渡辺 利明	研 究 員 (技) 知名 真智子
主 査 (事) 渡嘉敷 弘子	
主 査 (事) 金城 まゆみ	函 南 丸
農業技術補佐員 濱川 薫	船 長 (技) 外間 實
	機 関 長 (技) 中村 彰
海洋資源・養殖班	通信長兼主任航海士 (技) 横田 森夫
班 長 (技) 山本 隆司	主任航海士 (技) 西銘 清
研究主幹 (技) 海老沢 明彦	主任機関士 (技) 松川 一志
主任研究員 (技) 玉城 信	主任機関士 (技) 新崎 悟
主任研究員 (技) 玉城 英信	主 任 (技) 豊見山 彰彦
主任研究員 (技) 平手 康市	主 任 (技) 喜屋武 豊
主任研究員 (技) 近藤 忍	主 任 (技) 新垣 昇
主任研究員 (技) 中村 博幸	主 任 (技) 吉田 達美

主任 (技) 浜川 隆 男	主任 (技) 柴田 真 琴
主任 (技) 桃原 慧	

石垣支所

支 所 長 (技) 照 屋 忠 敬	研 究 員 (技) 狩 俣 洋 文
主 事 (事) 郡 司 昌 和	研 究 員 (技) 岸 本 和 雄
主任 研究員 (技) 木 村 基 文	農業技術補佐員 吳 屋 秀 夫
研 究 員 (技) 太 田 格	農業技術補佐員 仲 本 光 男
研 究 員 (技) 井 上 顕	

平成20年度職員異動 (転入・転出)

退 職 (旧所属)  
 浜川 隆 男 (函南丸主任)  
 屋嘉部 智恵子 (石垣支所主査)

転 出 (旧所属)  
 下 條 武 (研究員) 水産課へ  
 金 城 達 也 (函南丸機関士) 漁業取締船「はやて」へ  
 久 保 弘 文 (石垣支所主任研究員) 水産業改良普及センター大浜駐在へ

転 入 (現所属)  
 吉 田 達 美 (函南丸主任) 漁業取締船「はやて」から  
 郡 司 昌 和 (石垣支所主事) 住宅課から  
 岸 本 和 雄 (石垣支所研究員) 水産課から

再 任 用  
 浜川 隆 男 (函南丸主任)